

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2022No.271】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：セルゲイ・プロコフィエフ

曲名：交響曲第5番変ロ長調 op. 100

演奏：サントゥ＝マティアス・ロウヴァリ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54495>

2022年12月23日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



以上の他に下記が演奏されました。

エサ＝ペッカ・サロネン 《ヘリックス》

ジョン・アダムズ

ピアノ協奏曲《悪魔は全ての名曲を手にしなければならないのか?》

ヴィキングル・オラフソン(ピアノ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

前奏曲 ホ短調 BWV 855a (アレクサンドル・ジロティ編)

ヴィキングル・オラフソン(ピアノ)

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、スピーカーケーブルの途中と DA-3000 に自作の仮想アースが使用されています。さらに、DMR-UBZ1 の RCA 端子にも自作の仮想アースが使用されています。また、仮想アース Crystal Ep の導入(7)で報告したように Crystal EpY を Sonica DAC のアース端子に接続してみました。

プロコフィエフの交響曲第5番は、プロコフィエフらしい色彩感溢れる曲で、1985年生まれのフィンランド出身の指揮者ロウヴァリが、グランカッサとティンパニが連打される重厚な場面から、駆け足のような軽快な場面、終章の疾走する場面など、生き生きとした指揮ぶりでリードしています。

エサ＝ペッカ・サロネンの《ヘリックス》は、現代曲で、延々と続くティンパニの連打に合わせて、単調な音楽が続きます。

ジョン・アダムズのピアノ協奏曲は、これも現代曲のようで、出だしから低弦や若いピアノストのオラフソンの左手がリズムを刻みながら、ときおり金管が鳴ったり、キックドラムのようなものが画面に映ったりします。第2楽章、第3楽章も同じようなリズムが刻みつつ進行します。

アンコール曲は、うってかわってバッハの前奏曲ホ短調が静かに流れます。

一連の仮想アースの導入により、多様な音楽の表情への対応ができるようになっていきます。

以上